

高梁川流域キッズ

たかはしがわりゆういき

高梁川流域ゆかりの

いじん けんじん とくしゅう

偉人・賢人特集



かつやく とし
活躍した年:

1861~1897年



かつやく ぶんや
活躍した分野:

ほんやくか
翻訳家



ゆかりのある場所:

- もりたしけんのほか
- ・森田思軒墓
- かさあかしりつとしまかん
- ・笠岡市立図書館
- もりたしけんけんしやう
- 「森田思軒顕彰コーナー」
- もりたしけんせいいかあとちせきひ
- ・森田思軒生家跡地石碑



もりた

森田

しけん

思軒

新高 高総 早倉 矢井 浅里
見梁 社島 敷掛 原口 庄
市市 市市 町市 町市 町市

笠岡市



もりたしけん ぶんきゆうがん ねん いま かせあかしかせあかにしほんまち う

森田思軒は、文久元（1861）年、今の笠岡市笠岡西本町に生まれました。

けいおうきじゆく えいご いばら こうじょうかん かんしぶん まな

慶應義塾で英語を、井原の興讓館で漢詩文を学びました。

ごじょうきょう やのりゆうけい うんえい ゆうびんほうちしんぶんしや にゆうしや ぶんびつか しんぶんきしや かつ
その後上京し、矢野龍溪が運営する郵便報知新聞社に入社し、文筆家、新聞記者として活

やく ほんやくか ひひょうか ゆうめい とくとみそほう うんえい こくみんのとも
躍しましたが、とくに翻訳家・批評家として有名で、徳富蘇峰が運営する「国民之友」にも
ろんぶん ほんやくしやうせつ きこう
論文・翻訳小説を寄稿しました。

ほんやく たいひょうてき さくひん

翻訳の代表的な作品に、ヴィクトル・ユゴー原作の『探偵ユーベル』『死刑前の六時間』、ジュー

げんさく じゅうごしやうねん じゅうごしやうねんしやうりゆうき
ル・ベル又原作の『十五少年』（十五少年漂流記）などがあります。

せいようぶんがく みりよく ひろ しょうかい ほんやくぶん ぶんがくさくひん たか
西洋文学のおもしろさや魅力を広く紹介し、翻訳文を文学作品にまで高めるきっかけとな

おかくらてんしん もりおうがい こうだろはん しんこう
りました。岡倉天心、森鷗外、幸田露伴らとも親交がありました。

めいじ ねん さい ちやう はつしやう な どうきやうとたいどうくねぎし
明治30（1897）年、36才で、腸チフスを発症して亡くなり、東京都台東区根岸の

せそんじ ほうむ かせあか しょうまる かせあかしやうがっこうらて ぼち ぶんこつ ほか
世尊寺に葬られましたが、笠岡の小丸（笠岡小学校裏手）の墓地にも分骨して墓がつくられ
ました。

しょうがい おお さくひん はつびやう しけん ほんやくおう
生涯にわたり多くの作品を発表した思軒は、「翻訳王」ともよばれました。